

2005年1月13日

## 高砂工場のファンネル製造窯停止を決定

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社(本社:東京、社長:門松正宏)は、CRT(ブラウン管)ガラス事業のうち、ファンネル生産の再編を実施し、2005年末を目処に、高砂工場(兵庫県高砂市)のファンネル製造窯(1基)を停止することを決定しました。

当社は、2003年末をもってCRTガラスなどを生産していた船橋工場から全面事業撤退し、国内におけるCRTガラス事業を高砂工場に集約化して、引続きパネル及びファンネルの生産を行ってきました。しかしながら、高砂工場でのファンネル生産に関しては、生産性向上やコストダウン施策を推進しているものの、販売価格の下落や客先であるCRTメーカーの海外移転に伴う輸送費の増加、原燃材料費高騰などにより採算が悪化し、今後の生産継続が困難な状況です。

また、グローバルレベルでのCRTガラス需要は、パソコン用ではTFT液晶へのシフトにより、2004年度の約6300万個から2007年度には約3300万個へと半減することが見込まれ、テレビ用でもBRICsを中心とする新興国においては堅調に推移するもののトータルでは減少傾向になることが予想されます。

このような状況下において、当社は、CRTガラス事業の競争力強化を図るため、2005年12月末を目処に高砂工場のファンネル製造窯を停止します。これにより、CRTガラスの生産は、国内では高砂工場においてパネル生産を継続、海外では東南アジア・韓国・中国においてパネル及びファンネルを生産する体制となります。今後も需要と客先の生産拠点に対応した日本・アジアでの最適生産分業を進めていく所存です。

なお、高砂工場のファンネル製造窯停止に伴い、2004年12月期に特別損失が約33億円発生する見込みです。

以上

本件に関するお問い合わせ先:旭硝子(株)広報室長 川上 真一

(担当:斎藤 TEL:03-3218-5509、Email:info-pr@agc.co.jp)

## <ご参考>

### 1．高砂工場の概要

- (1) 所在地 兵庫県高砂市梅井 5 - 6 - 1
- (2) 代表者 工場長 寺田賢二
- (3) 生産品目 CRTガラス(パネル、ファンネル)、SiC 製半導体装置部材
- (4) 敷地面積 約38万㎡(内、約9万㎡を旭硝子セラミックス社に賃貸)
- (5) 従業員数 511名(2004年12月20日現在)

### 2．CRTガラスの構成

CRTガラスは、画面が映し出される前面の「パネル」、その背後のじょうご型をした「ファンネル」及び電子銃を収納する「ネックチューブ」の3部品から構成されています。

